

# 学校評価報告書（自己評価） 令和7年度

世田谷区立給田小学校

※数値は教員が5段階自己評価を行った平均値

## 重点目標(教育目標)

### 4.06（今年度）

- ・主体的に自ら興味・関心をもって周りの人と協働しながら学びを深める児童の育成
- 成果 校内研究の国語科や総合的な学習の時間の話し合い活動で、学びを深める姿が見られた。
- 課題 学年や学級によっても差があり、発達段階における目標や目指す姿が明確になるとよい。
- 提案 各学級でまず友達の考えを「聴く」ことや受け入れることができる雰囲気づくりを目指す。

## 豊かな心と体の育成

### 4.15（今年度） 4.12（昨年度）

- ・多くの人との関わりの中で、児童の自尊感情を育てることができたか。
- 成果 友達同士、ボランティア活動や地域の方との関わりの中で自尊感情が高められていた。
- 提案 自分の長所を知り、自信をもってさらに人との豊かな関わりができるようにしていく。

## 確かな学力の育成

### 3.96（今年度） 3.68（昨年度）

- ・「せたがや探究的な学び」の実現に向けて「探究のプロセス」を授業に取り入れるよう努められたか。
- 成果 校内研究の国語科では児童自ら「問い」をもつことを意識して取り組むことができた。
- 課題 学習意欲は高まってきているが、すすんで課題を見つけるという点では個人差がある。
- 提案 各教科で児童自ら課題意識をもって取り組めるように、教師からの働きかけを工夫する。

## 開かれた組織

### 4.31（今年度） 4.48（昨年度）

- ・支援が必要な児童について教職員全体で理解し、指導にあたることができたか。
- 成果 学年内では児童の情報を共有したり、交換授業を行ったりして対応できた学年が多かった。
- 課題 他学年の情報等が共有されておらず、校内で問題意識を共有し、対応する面で課題がある。
- 提案 生活指導部会や校内委員会等を活用して、情報共有や対応策の検討を行い、組織的な解決を図る。

## 安全・安心な学校生活

### 4.08（今年度） 4.03（昨年度）

- ・どの児童にも居場所ができるような支持的風土のある学級づくりができたか。
- 成果 あったかルームを活用する等、担任と養護教諭で連携して進められたケースもあった。
- 提案 児童の様子や学校生活アンケート等から児童理解を深め、未然防止、早期発見・解決に努める。

## 地域運営学校としての取組

### 3.62（今年度） 3.44（昨年度）

- ・地域運営学校として地域との連携を意識して活動できたか。
- 成果 総合的な学習の時間等で地域の方の積極的なご協力により、充実した授業実践ができた。
- 課題 教員の意識をさらに向上させていく必要がある。
- 提案 地域コーディネーターの方と連携し、校内の担当者を中心に、総合的な学習や生活科で1年～6年まで系統的に進める必要がある。